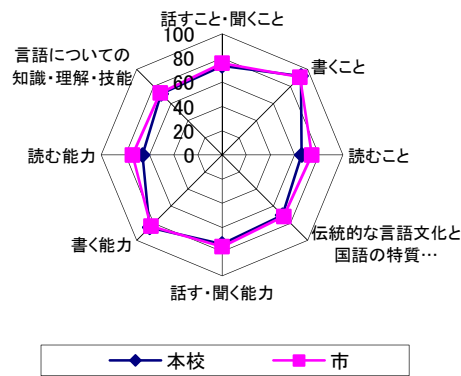


宇都宮市立上河内西小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	73.7	75.9	72.1
	書くこと	92.3	91.0	79.2
	読むこと	65.8	74.1	71.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	70.6	72.0	73.0
観点別	話す・聞く能力	73.7	75.9	72.1
	書く能力	84.8	83.3	72.2
	読む能力	65.8	74.1	71.1
	言語についての知識・理解・技能	71.4	72.5	72.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

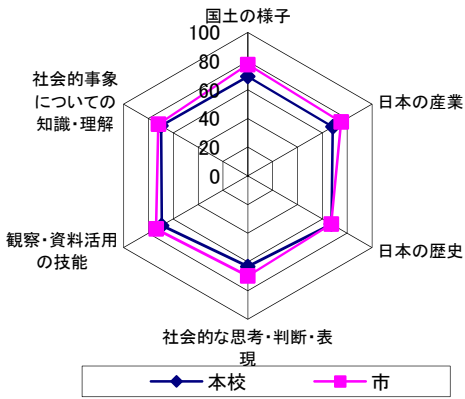
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話し手の意図を考えながら、話の内容を聞き取る設問や司会者の役割を理解して、計画的に話し合う設問では、市の平均やや上回る結果を得た。 ●司会者の役割を理解して、立場や意図を明確にして話し合う設問では、市の平均を下回る結果となった。	日々の中で、相手の話を落ち着いて聞き、特に話す時の声の大きさや話の組み立て方など相手に分かりやすく伝える工夫をする経験を通して学んでいけるような場を意図的に設定していきたい。
書くこと	○作文の設問では「指定された長さで文章を書くこと」や「2段落構成で文を書くこと」などは市の平均を上回った。 ●「自分の意見とその理由を区別して書く」については、市平均と同等もしくはやや下回った。	原稿用紙の使い方や段落の分け方などを十分理解できていない児童も見られるので、しっかりとそれらについて指導していく必要がある。また、文を書く場面を多く設定し、書くことの習慣を付け、自分の思いや考えを書くことができるようにしていきたい。
読むこと	○資料とパンフレットを読み取る設問では、市平均を上回った。 ●「物語の内容を読み取る」「説明文の内容を読み取る」の設問では、市の平均を大きく下回った。	物語文では、場面の転換をしっかりとらえ、人物の心情の変化に注目して文章を読み進めていくように繰り返し声をかける。説明文では、キーワードとなる言葉を見つけたら、事実と筆者の考えをしっかりと分けたりしながら、読み深めていくようにしていきたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○「言葉の学習」では三字の熟語の構成についての設問では、市の平均を大きく上回った。 ●「言葉の学習」では俳句についての理解の設問、敬語の使い方を理解しているかの設問で市の平均を大きく下回った。 ●「漢字の読み書き」の設問では、市の平均と同等もしくは下回るもの、上回るものにバラつきがあった。	漢字の読み書きについては、家庭学習を中心に繰り返し練習をしていくようにする。また、日記指導などをする中で、言葉の使い方や表現の方法などについても指導していきたい。

宇都宮市立上河内西小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	69.2	77.6	77.6
	日本の産業	68.4	75.1	67.5
	日本の歴史	67.3	67.2	62.0
観点別	社会的な思考・判断・表現	63.2	69.7	64.7
	観察・資料活用 の技能	69.3	73.8	68.5
	社会的事象 についての知識・理解	69.8	72.0	67.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

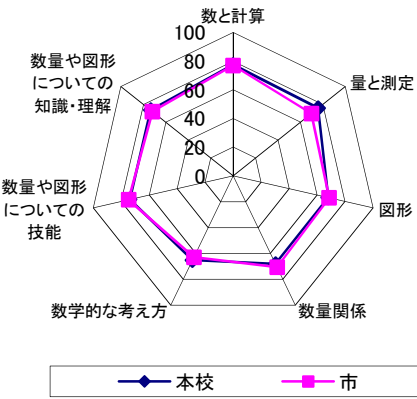
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	○日本周辺の海洋名などは市の平均を上回っていた。 ●「日本の周囲の国の国旗を理解しているかどうか」「北海道と沖縄県の家の比較からそれぞれの地域での暮らしについて考察する」問いでは市の平均を大きく下回っていた。また「日本の国土や位置についての理解」を問う問いでは、市の平均を大きく下回り、正答率が50パーセントとなっていた。	国土と地形についての基本的な理解が十分できていないとは言えないので、様々な教科の学習において、地図を使用する機会を増やすことで、地形について関心をもたせ知識の定着を図る。また、理科の学習と関連付けて、地形や気候についての理解を深める。
日本の産業	●日本の食糧生産についての問いでは、市の平均を大きく下回っていた。特に、食糧生産にまつわる話題について関係の深い資料を把握することができるか」の問いで15%以上も市の平均を下回っていた。 ●日本の工業震災についての問いでも、市の平均を下回っていた。	日常のニュースなどから、日本の産業に関連することを話題にし、関心を高めさせる。社会の学習だけでなく、他教科においても資料からの読み取りや自分の言葉で表現することを繰り返していく。
日本の歴史	○「縄文時代の生活に関連する資料の選択」や「信長が戦で用いた鉄砲の理解」「江戸から大正への変化の内容の表現」「明治時代に活躍した人物の業績についての理解」では市の平均を上回っていた。 ●「大宝律令などによる負担を複数の資料から考察する」「御恩と奉公についての知識から資料を判断する」問いでは、市の平均を10%以上下回った。	特徴的な出来事や人物についての理解は深まっているが、人物の行った政策については理解が浅いので、出来事や人物だけでなく、条約や勅語などにも注目させていく。資料の中から重要な部分を抜き出したり、資料を分析したりする活動を多く取り入れていきたい。

宇都宮市立上河内西小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	77.4	77.0	70.4
	量と測定	75.8	69.8	68.5
	図形	67.9	68.6	72.4
	数量関係	68.1	70.6	60.4
観点別	数学的な考え方	65.2	63.0	54.8
	数量や図形についての技能	74.0	74.7	67.3
	数量や図形についての知識・理解	73.4	72.0	74.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
(算数では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

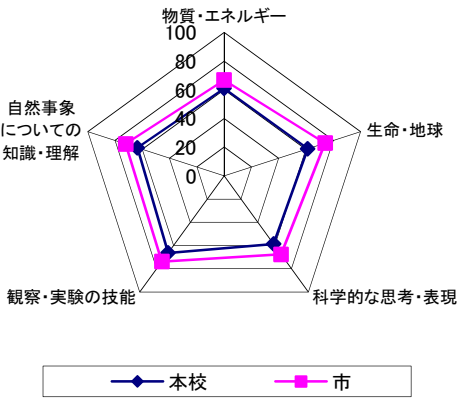
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○分数の除法の文章問題を表した図を選ぶ問題では、市の平均を上回っていた。 ○そのほかの問題では、ほぼ市の平均と同等であった。	今後も継続して、計算問題を繰り返し行うようにし、その技能を確かなものにしていきたい。また、ケアレスミスを防ぐように、見直しをしっかりと行うよう声をかけたい。
量と測定	○速さの単位の関係を理解し、分速を時速に直す問題では市の平均を大きく上回っていた。 ○高さが図形の外にある三角形の面積を求める式を選ぶ問題や展開図から円柱の体積を求める式を選ぶ問題では市の平均を10ポイント以上上回っていた。 ●速度を求める式を選ぶ問題では、市の平均を下回っていた。	面積や体積を求める式を選ぶ問題では、正しい答えを選ぶことができるが、しっかりと理解しているとは言い難いので、自ら理論立てて考えられるように支援していく。 速度を求める問題に関しては、十分に理解していない児童もいるので、速度と道のりと時間の関係をしっかりと復習したい。
図形	○点対称な図形の対応する点を見つける問題や三角柱の展開図を組み立てたときに重なる頂点があるかの問題では市の平均を上回っていた。 ●合同な三角形を作図する問題や五角形の内角の和を求める式を立てる問題、円の半径から円周を求める問題では、市の平均を下回った。	基本的な図形の定義や作図についての理解が不十分であることから、様々な活動の中で基礎基本を振り返る活動を取り入れたい。 図形を苦手だと感じている児童も多いので、図形の約束や性質と、操作とを関連づけて理解できるように指導を工夫していきたい。
数量関係	○比例・反比例の問題においては、式にすることや表に当てはまる数を求める問題では市の平均を上回っていた。 ●割合と比の問題では、帯グラフから割合を読み取ったり比較量を求めたりする問題で市の平均を下回った。	5年の学習内容が十分に理解していないことがうかがえるので、これまでの復習をしっかりとできるように、家庭学習などを工夫したい。 目的に応じてグラフから必要な情報を見つけることができるように、注意すべきポイントなどを考えられるように指導する。

宇都宮市立上河内西小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	61.0	66.8	63.6
	生命・地球	61.2	74.0	75.3
観点別	科学的な思考・表現	58.7	67.6	65.0
	観察・実験の技能	66.4	73.8	70.4
	自然事象についての知識・理解	63.6	72.1	73.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○「もののとけ方」や「ものの燃え方と空気」の基本的な問題では、市の平均を上回っていた。 ●ろうそくが燃える前後の空気中の気体の体積変化から空気中の気体の組成が分かる問題では、市の平均を下回った。 ●「水よう液の性質とはたらき」のでは、実験結果から考える問題では、市の平均を大きく下回った。	実験は楽しくすることができるが、結果から考察することは苦手だと考えられる。実験の目的をはっきり意識させることで、結果から得られる考えを深められるようにしたい。 単元によって、理解に差があるので、復習をしっかりと行いたい。
生命・地球	●「人のたんじょう」「生き物のくらしと環境」「太陽と月の形」などの問題で市の平均を大きく下回った。特に「人のたんじょう」「太陽と月の形」では、市の平均を20ポイント以上下回っている問題がほとんどだった。	実際に触ったり目にしたりすることのできない内容への理解が低いので、図書資料だけでなく、より想像しやすい映像資料をうまく活用し、理解を深められるようにしたい。知識を知るだけでなく、現象が起こる理由なども踏まえ指導することで、自ら現象に興味をもち進んで学んでいこうとする態度を育成したい。